

# セクシュアル・マイノリティの暮らしの困りごと

## ～まずは知ることから～

ゲストスピーカー:「やっぱ愛ダホ! idaho-net」代表 遠藤 まめたさん

コーディネーター: 明治学院大学社会学部教授 石原英樹

\*以下の内容は、ゲストスピーカーによる講演内容の一部をまとめたものです。

学習会当日は、講演のほか、ゲストスピーカーからの事例に関しグループディスカッションを行いました。

### ■ 「性」の構成要素

- ① 生物学的な性 【からだの性】
- ② 性的指向 【だれがすきか】
- ③ 性自認 【こころの性】

### ■ 自己紹介

#### 【遠藤まめた】

- 1987年生まれ。横浜から来ました。
- 10代から多様な性についての若者支援に取り組む



#### ①生物学的な性

人の体は細胞からできています。細胞の中に遺伝子があり、その中に目の色や髪の毛の色を決める部分があります。遺伝子には、性別に関する性染色体があり、染色体がXXだと雌、XYだと雄です。これが生物学的な性です。

明確な男女の2パターンだけではありません。見た目では男の子か女の子かわかりにくい状態の赤ちゃんが数千人に1人くらいいます。母子手帳の性別欄は、男・女・不明の3つです。生まれた時は女の子だとみんなが思ったのですが、17歳になっても生理や第二次性徴がこないで調べたら卵巣の代わりに精巣があったという子もいます。その逆もあり、男の子なのに声変わりをしないので調べたら、性染色体が違っていたというケースです。そういう人たちを性分化疾患といいます。

#### ②性的指向

性的指向とは、どんな人を好きになるのかです。人を好きになるときに、性別は重要な要素ではなく、男性を好きになることも女性を好きになることもある人をバイセクシュアルといいます。諸調査から、ゲイ、レズビアン、バイセクシュアルは、人口の3%から5%といわれています。異性を好きになる人には、ヘテロセクシュアルという名前が付いています。恋愛に興味がない、性愛に関心がない人もいます。

性的指向のポイントは、自分の意思で選んだり変えたりするものではない点です。気づいたら同性が好きなのです。なぜ人は同性を好きになるかについて、様々な研究があります。例えば、お母さんが妊娠中にストレスを感じると子どもがゲイになる、育て方により同性愛者になる、などと言われてきましたが、諸調査から「なぜ同性を好きになるかはわからない」ということがわかりました。人の性的指向は、一人ひとり違うのです。

### ■ 「性」の構成要素

- ① 生物学的な性
- ② 性的指向【だれがすきか】
  - ・同性が好き: **ゲイ、レズビアン**
  - ・どっちも好き: **バイセクシュアル**  
(人口の約3~5%)
- ※異性が好き: **ヘテロセクシュアル**  
恋愛に興味なし: **Aセクシュアル**
- ③ 性自認

## ■ 「性」の構成要素

① 生物学的な性

② 性的指向

③ 性自認 【こころの性】

男として生まれたが女として生きたい  
女として生まれたが自分を女と思えない  
自分の乳房や性器が嫌い

トランスジェンダー

性同一性障害(数百人~数千人に1人)

③性自認

英語では、ジェンダー・アイデンティティ、自分の性別を自分でどのように思っているかということです。

「性自認はどうですか」ときくと、「考えてみたことがない」という人は多いでしょう。考えたことがない人は、恐らく①生物学的な性と一致している人と思います。しかし、生物学的な性と一致しない人にとってはとても重要です。「生物学的には男性だけど、私は女性です」「女性として生まれたが、男性かと言われると100%男だとも言い切れない。少なくとも女ではない」という人もいます。100%男性、100%女性というわけではなく、グラデーションがあります。自分が思っている性別が、生物学的な性別と必ずしも一致している人ばかりではありません。

一致していない人をトランスジェンダーといいます。トランスジェンダーの人の中には、例えば、自分は男なのに自分で自分の胸は膨らむのかと、自分の体が嫌いになる人や性器を変える手術を望む人もいれば、別にどうでもいいという人もいて、人により違います。

女性として生まれた人でも、男性ホルモンを注射するとひげが生えたり、筋肉がついてマッチョになり、ホルモン注射や手術で体を変える必要がある人もいれば、女性の服装で生活することで満足する人もいます。どう生きていきたいかは人によります。

トランスジェンダーのことを医学的に性同一性障害といいます。性同一性障害という診断に当てはまる人と診断をもっていない人がいます。医者が注射や手術をする理由が必要という背景から、性同一性障害という病名があります。ただ国際的に、病気ではないという議論の最中です。将来的に名前が変わり、疾患ではなくなるのではないかとわれています。

同性が好きな人は人口の3%から5%といわれ、これは左利きの人と同じ割合です。クラスに1人くらいはいる感じですが、目に見えにくいです。トランスジェンダーの人は、数百人から数千人に1人くらいなので、上記より少ない状況です。

## 「性」を構成している要素

ちなみに・・・

②性的指向 【だれがすきか】

③性自認 【こころの性】

の2つは別モノ！



性的指向と性自認は関係がありません。

私はトランスジェンダーです。①生物学的な性は女性で、③性自認は男性ですが、②については話していません。私の恋人の性別を問うと「女性なのかな」と思われます。ネコではありません。ネコかもしれないですが、私は女性が好きです。

私の友だちにトランスジェンダーの女性がいます。生まれたときは男性で今は女性として暮らし、パートナーは女性です。戸籍上は男性なので婚姻届を出し結婚しています。結婚式では二人ともウエディングドレスでした。日本では同性同士は結婚できませんが、こういう人たちもいます。バイセクシュアルな人もいますが、トランスジェンダーということと誰が好きかということは全く関係ないからです。

テレビの、いわゆるオネエタレントは、男性で男性が好きだとオネエ言葉話すというステレオタイプです。ですが男性で男性が好きということは、女性の服を着たいとかオネエ言葉話すこととは関係がありません。

L : レズビアン

G : ゲイ

B : バイセクシュアル

T : トランスジェンダー

LGBTという言葉は、狭い意味でのセクシュアルマイノリティの意味で使われます。

分類は大事ですが、もっと大事なのは、人は一人ひとり違うということです。

一口にレズビアンと言っても、恋愛に生きる超恋愛体質な人もいれば、恋愛よりネコが大好きな人もいれば、仕事が好きすぎて恋人は要らない人もいます。トランスジェンダーにも、体を変えて生きる必要がある人も、そうではない人もいます。一人ひとり違います。分類は大事ですが、その人たちが自分の話として話していることが一番真実です。

# ○、×で回答してください

- 1)日本では学校で多様な性を教えている
- 2)日本では同性婚できる街がある
- 3)日本では法的な性別が変えられる

1) 教えている学校もありますが、ラッキーな場合です。学校で使われている中学三年生の「心のノート」という教材です。夕日をバックに男子と女子が二人で仲むつまじく自転車を押しながら歩き、「好きな異性がいるのは自然」とあります。同性が好きな人にとってはプレッシャーで、好きな同性がいるのは不自然なのか？という話です。教材には、このような内容がたくさん書いてあります。

2) 残念ながら×です。最近、東京都の渋谷区と世田谷区、沖縄県那覇市、兵庫県宝塚市、三重県伊賀市、北海道札幌市では、同性同士のカップルがパートナー証明書をもたらえるようになりました。証明書なので法律上の効果をもつものではなく、結婚できるわけではありません。

3) これは○、変えられますが、条件が厳しいです。



## ●●●●人権は守れない

- 「多様な性を学校で教えてほしい」とマッキーが思うようになった理由
- Equal rights, not special rights (特別な権利がほしいんじゃない。あなたが空気みたいに消費しているごく当たり前の生き心地がほしい)

情報が無いことは、セクシュアルマイノリティにとって、いいことではありません。

ある男の子は、自分が高校生になり男の子が好きかもしれないと思ったときにショックだったと言います。オネエタレントを見てみんなが笑ったり、小さい頃からオカマと言われ、いじめられたことから、人には絶対言えない、自分はなぜこのように生まれてきたのかと思っていたそうです。彼はユーチューブで自分のことを話すゲイが、等身大で話す姿を見て自分も幸せに生きられるとわかり救われたそうです。それくらい情報が無いのです。情報がなく困るのは当事者だけではなく、周りの人も同じです。知らない人権を守れません。マッキーは男の子が好きな女の子です。大学の寮で仲が良かったさっちゃんから、留学する直前に「実は女の子と付き合っている」とカミングアウトされ、自分が「早くいい男を見つけなよ」などと言っていたことを後悔しました。多様な性について知ることが大切だとマッキーは思うようになりました。

セクシュアルマイノリティの話は、慣れない人には、「なぜみんなで考えなければいけない？」と思うかもしれません。しかし特別なことではありません。例えば、職場の同性カップルは、パートナーの話は職場では話せないことがあります。セクシュアルマイノリティは、普通にみんなができることができない時があります。トランスジェンダーの人は、制服着て学校へ行くことがすごく難しいことがあります。みんながやっていることが、ある人たちにはできないことがあります。工夫をすればできるようになります。セクシュアルマイノリティは、特別な新しい権利を得たいということではなく、ほかの人が得ているものと同じものを得られていないかもしれないと気づいてほしいと思います。



よしながふみ「きのう何食べた？」より

アメリカの同性同士の結婚を推進する団体「イコール・ライツ、ノット・スペシャル・ライツ」では、同性婚、ゲイマリッジという言葉は使いません。マリッジという言葉は、もともと異性愛者のためにあるような言葉だからです。マリッジイクオリティー（婚姻の平等）という団体は、「単にマリッジ(結婚)でいい」と言います。

ニューヨークで同性同士が結婚できるようになったときの第1号は、87歳と76歳のおばあちゃんカップルです。制度が間に合わなかったカップルは、家を相続するために莫大なお金を払わなければいけません。結婚していれば相続できますが、結婚できないと、家族ではないということで不利益になることがあります。

日本では同性同士の結婚はできませんが、同性パートナーという証明書があります。しかし、いろいろな権利保障のための法律は一切ありません。自治体で取り組もうとしています。法律は追い付いていません。ただ、自治体が認めてくれるだけでもうれしいと思う人たちもいます。

今の日本は、性別は変えられます。

性別はいろいろな要素からできています。例えば、ホルモン注射や手術により体を変えることはできませんし、社会的な性別もいろいろな場面で変えることができます。名前は、一定の条件をクリアすれば、裁判所で変えられ、学校によっては学生証の性別を変えることができます。職員証の性別を変え、周りからの扱われ方もカミングアウトで変わります。性別は服装や髪形などで変えられます。

## 性同一性障害特例法はきびしい

- 戸籍(法律)上の性別変更のハードルは高い  
→ 性別適合手術や離婚、子がいないこと  
etc.が必要。就職のとき困る！



戸籍の性別に関しては、性同一性障害特例法（性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律）という法律があり、ある条件をクリアした人は戸籍上の性別を変えることができますが、その条件は非常に厳しいです。

性別適合手術、つまり下半身の手術をしている。  
結婚していない。独身である。

→結婚している状況で片方が性別を変えると、男性同士、女性同士の結婚状態になるからです。性別を変えた後結婚した人はいますが、相手が異性の場合です。未成年の子がいるとできません。

## ダイバーシティ(多様性)は 組織のチカラ



今企業では、人種、障がい、性別、LGBTであるかなどに注意して、差別の心配をせずに生き生きと働けるほうが組織としてメリットがあると、多様性やいろいろなバックグラウンドを尊重することが注目されています。

LGBTの人たちが行うプライドパレードのイベントには、アップル、フェイスブック、グーグルなどの会社が参加しています。アップル社長のティム・クックさんは、世界で一番金持ちのゲイといわれています。フェイスブック創立メンバーの一人もゲイでした。今、一流企業は軒並みLGBTのことを一生懸命考えています。

グーグルの取り組む理由は、「知らないうちに傷つけたり、知らないうちに働きにくくしているのはデメリットだ。差別は割に合わない。あらかじめみながり、不公平感を抱かずに気持ちよくできる方法をみなで考えればいい。誰も好き好んで働きにくい環境をつくっているわけではなく、知らないからなので、みながモチベーションをもって働けるようにしたい」とのことでした。

## カギになるのは誰？

「カミングアウトしてくれてありがとう！」  
「わかんないけど一緒に考えてもいい？」  
「今度、パートナーとご飯にいこうよ！」

言われてうれしいのは、さて、どっち？

(A) 専門家の人 (B) 普段接している仲間



岬千皓さんのツイッターアカウントより



カウンセラーや特別な専門家や専門職だけではなく、みんなに知ってほしい話です。もし自分がカミングアウトした時に、一緒に考えてくれて「今度パートナーと一緒にご飯行こうよ」と言ってくれたらうれしいのは、普段接している仲間です。ですから、みんなが自分のこととして考えるようになればと思います。

もしカミングアウトされたら、自分だったらどうリアクションするだろうと考えてみて欲しいです。

左の漫画は、「私、女の子が好きなんだ」と言われた子が、オチでアイドルの写真集を見て「どんな子が好きなの？」と一緒に話をしています。

イギリスのウィリアム王子は、「アティチュード」というゲイ雑誌の表紙に出て、インタビューで、ゲイであることは恥ずかしいことではないし自分を誇りに思うべきと答えています。LGBTではない人がLGBTの話をする事で自分がゲイと思われることを恐れる男性がいますが、そんなことはありません。みな普通に話せばいいと思います。疑問をもち行動したウィリアム王子は格好いいです。

渡辺直美のインスタグラムは、白目をむいていますが、「『ホモ、きもい』って言われたら、みんなこの顔をしよう」というコメントが付きシェアされまくりました。お笑い芸人なりに面白く発信してくれたと思います。

## もしカミングアウトされたら

- 結構それってすごいことかも！
- わからないことは「聞いていいのかわからないけど」と付けて聞いてみよう
- 漫画とか映画とか、おすすめて聞いてみるのもあり

やってはいけないことは、本人の許可なく周りに言い触らすことです。特に、許可なく家族に伝えることは絶対やってはいけません。なぜなら、家族はかなりショックを受けます。問題がない家族もありますが、家族自身が孤立することがよくあります。家族には、本人が自分で決めて、自分のタイミングで伝えることが非常に重要です。

家族に対するサポート機関もあります。カミングアウトしたことによりうまくいかなかった家族も、そういう機関につながり、ほかの家族と話す中で考え方が変わっていくことがあります。

もし自分がカミングアウトされたらどのように振る舞ったらいいか、この話題を周りの人にどのように伝えたらいいかを普段から考えていけるといいと思います。

カミングアウトすることは、勇気が要ることだったかもしれませんが、多分わからないことがいっぱいあると思いますが、わからないことは、「聞いていいのかわからないけど」という言葉を付けて聞いてください。その人がおすすめの漫画や映画を聞いて、一緒に読んだり見たりするのもいいかもしれません。

## やってはいけないこと

- 本人の許可なく、周りに広めてしまうこと(アウティング)
- **許可なく、家族には絶対に伝えない**
- あなたの話も訊いてもらう番かも？  
「LGBTの家族と友人をつなぐ会」  
ほかに電話相談機関もあります

ファンの方々から手紙でよく質問されるんです。

『このキャラクターの本当の性別は何ですか？女の子？男の子ですか？』って。



私たちは「それはたいした問題じゃない」と答えます。

もっと大切なのは、ひとりぼっちの小さな生き物がいないかどうかということ。ステレオタイプではありません。



ムーミンに出てくるキャラクターの「おしゃまさん」は、性別がわかりづらいですが女性です。ムーミンの作者のトーベ・ヤンソンという女性は、今から100年以上前に生まれましたが、バイセクシュアルでした。そのパートナーが、作品の中でキャラクター化されています。トーベ・ヤンソンは、100年以上前にもかかわらずオープンに同性のパートナーといろいろな場所に行ったすごい人です。ムーミンには性別不詳のキャラクターがいっぱい登場するので、ムーミンの会社には、「このキャラは男ですか、女ですか」という子どもたちからの手紙がたくさん届き、会社はそれに対し、「それは大事じゃないんだよ。もっと大事なのはひとりぼっちじゃないってということなんだよ」と答えているそうです。

基本的には、今、その人がひとりで困っていることがあるのか、どのようにしたらみんなとつながっていると思えるのかがポイントです。

(台湾の動画) 娘が同性愛であることをカミングアウトされた父親が、当初は動揺するが、最後娘は娘という内容。

今日のテーマは、「地域の多様な家族が孤立しないために私たちができること」ということでしたが、もともと一人ひとりがもっている力はつながり合っています。紹介した動画の場合は、もともと家族がもっている力があり、セクシュアルマイノリティについても、既にあるいろいろなつながりを振り返って考えられたらと思います。

**\* 学習会当日は、ゲストスピーカーから提供された以下の事例について、グループごとにディスカッションを行いました。**

●子どもからレズビアンであることをカミングアウトされて孤立している親から相談を受けました。どうしたらよいでしょうか。

母親はほぼ受容していますが、父親が受容できず、口をききません。学費を出さないと断っています。